

(様式 1)

令和 4 年度 学力向上を図るための全体計画

| | |
|-----|-------------|
| 学校名 | 墨田区立第一寺島小学校 |
| 校長名 | 森 村 聡 彦 |

1 本校の学力に関する状況

(1) 墨田区学習状況調査結果から

| 成 果 | 課 題 |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none">・ 4 年社会と 4 年理科の「学習に取り組む態度」を除き、調査学年の全ての教科、観点で全国平均を上回っている。・ 国語の正答率が特に高く、全ての学年で観点の「主体的に学習に取り組む態度」は 13 ポイント以上、「思考・判断・表現」は 10 ポイント以上、上回っている。・ 昨年全国平均を下回った現 6 年生の理科は、授業を工夫して学習内容への興味関心を喚起して指導した結果、3 観点全てで平均を 4 ポイント上回った。・ 5 年算数は、E 層の児童は 0 名になった。 | <ul style="list-style-type: none">・ 4 年社会と理科の全国平均との差は 2 ポイント以内であり、指導方法を工夫して学習への興味関心を喚起し、知識技能の定着を図る。・ 読書に親しむ指導を継続してきた成果が、国語を始めとする各教科の理解習熟に現れている。今後も全校一斉に静寂の中で朝読書に取り組む。・ 今回の高い平均点は、高得点者によって得られたのではなく、D・E 層の児童も最後まで課題に取り組んだ結果である。何事にも真摯に最後まで取り組む姿勢を育成していく。 |

(2) 意識調査結果から

| 成 果 | 課 題 |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none">・ 規範意識のポイントは全国値を上回り、高学年で高い数値だった。また、学習意欲も高い。・ 成功体験や自信、充実感と向上心も数値が昨年より上昇している。 | <ul style="list-style-type: none">・ 中学年はおおむね全国平均値に近いが、項目によって下回っている。成功体験をさせ自己肯定感を育むなど、前向きに学習に取り組む態度を育成する必要がある。 |

(3) 墨田区学習状況調査や意識調査以外から明らかになっている学習に関する状況

| 成 果 | 課 題 |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none">・ 高学年児童の授業規律や学校生活の規範意識が確実に育てられており、中・低学年を含めて学校内の全ての学級が落ち着いて学習に集中できる環境にある。・ D, E 層の重点的な学力支援が必要な児童も、課題に真剣に向き合って最後まで学習に取り組むため、全体の平均点が底上げされている。 | <ul style="list-style-type: none">・ 高学年児童の、学習や学校行事などの活動に対して最後まで真面目に向き合う態度は、低・中学年の時から育まれたものである。「一生懸命は、かっこいい」という、当たり前だが大切な価値観を今後も全校児童に身に付けさせたい。・ 中学校進学の前にある、高等学校や専門学校、大学など自ら学びたい分野や領域を見通して、得意な教科をさらに深く学ぶ目的意識や意欲をもたせたい。 |

2 本年度の学力向上に関する主な取組

(1) 学力調査結果D・E層を意識した集中的な支援

○キャリアアップタイムの発展継続

- ・木曜日の6時間目に設定し、D・E層の児童への算数の補習を行う。C層以上の児童は別の課題を行う。(令和3年度・年間14回実施 令和4年度・年間19回実施予定)
- ・6年…小テストを行い、間違えた問題を類似問題で復習。満点の児童は別課題を自主学習する。
- ・3～5年…復習問題を学習する。(ミライシード、ふりかえりシート、東京ベーシックドリル)

○すみだチャレンジ教室(秋期放課後補習)の活用

- ・すみだ教育研究所が開催する補習教室を活用し、現4年生のD層児童12名の基礎学力向上を図る。この補習による「分かる楽しさ」を成功体験として生かし、自己肯定感の高揚につなげる。

○パワーアップタイムの継続実施

- ・D・E層の児童に対して、無理のない放課後学習の時間を確保し、補習を行う。
- ・スモールステップでの学習を積み上げる。

【→オンラインを駆使して会議を精選し、放課後に児童の実態に合った授業準備や教材研究、補習の時間を確保する。teamsを使用して情報連絡、会議記録の共有を行う】

(2) 読書および家庭学習・自主学習の継続した一層の強化充実

○読書習慣の定着維持

- ・週3日の朝読書を共通理解のもと、どの学級でも必ず実施する。全校が静寂の中で本の世界に集中する時間を創出し、学習への集中力を育成して今後も継続して読解力の養成に努める。
- ・教室や学校図書館の在庫充実に努める。

○家庭学習での保護者との連携

- ・年間3回2週間ずつの特設「家庭学習パワーアップ週間」を実施する。
- ・日常的に家庭学習課題を課し、保護者との連携で確実に実施する。

(3) 中学進学後を見通したキャリア教育 ～応用力を身に付ける発展的な学習

○これから先のことを予測する力を育成する

- ・5, 6年生には毎週水曜日の朝学習で「よむYOMU問題」に取り組みせ、読解力を育成するとともに、内容についての問題提起をして社会事象や自然現象に興味関心をもたせる。
- ・「学んだことから類推する学習」「調べたことを比較する学習」「分かったことを新しい知識として生かす学習」を授業に取り入れた指導計画を立てる。

3 「令和5年度 墨田区学習状況調査」における目標

(1) 目標

- ・全学年全教科の調査値が、**全ての観点で**全国標準スコアを3ポイント以上越えるよう課題を克服し、学力の充実を図る。
- ・これまで通り、各学年の調査値が経年変化比較において向上している状況を維持する。
- ・「一生懸命は、かっこいい」という、大切な価値観と諦めない姿勢を全校児童に身に付けさせる。